

中小でもできるSDGs



LPガス販売のエネジン（浜松市中区）の藤田源右衛門社長が、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組み方について解説した「中小企業でもできるSDGs経営の教科書」（あさ出版）を出版した。中小企業でも無理なく実践しやすい活動の手法などを、同社の事例も交えて指南している。

藤田社長は同書で、SDGsの活動は、社会貢献だけでなく、人材確保や新しいビジネスチャンスなど本業に直結した効果も期待できると指摘。

その上で、十七ある目標のうち「パートナーシップで目標を達成しよう」に注目。

エネジン社長が手法指南

本でSDGsの取り組みを紹介する藤田源右衛門社長＝浜松市中区で

他社や市民団体などと連携を強めることで、大いに経営資源の少ない中小でも成果を得ることができると説いている。

連携の事例としては、飲食店や理美容店などと協力し、各店舗の情報を掲載するチラシを制作したことを紹介。目標十一の「住み続けられるまちづくりを」の展開に向け、新型コロナウイルス禍で打撃を受けた各店への支援の輪を広げた。

同書では他に、成果につながる活動のコツとして、地域貢献を意識することや広報活動を重視することなども紹介している。

藤田社長は「SDGsと言えど、何かすごいことをしなければいけないと思われがちだが、自社に落とし込んで他社と協業することで、確実にレベルアップしていける」と話している。

価格は千六百五十円。全国の書店やネット通販サイトで取り扱う。（木造康博）

2022年（令和4年）1月27日（木）中日新聞